

検査結果表1

利用者番号	001273972	アガナケンシ タウ 氏名 検診 太郎	性別: 男 年齢: 34歳	今回検査日 平成18年 4月12日 (B) 前回検査日 平成18年 3月 4日 (B)
-------	-----------	-----------------------	------------------	--

検査項目		2006. 03. 04	今回	基準値	判定
一般	身長	173.5	173.5 cm		
	体重	78.1	78.1 kg		
	肥満度 (BMI)	25.9	25.9	18.5~24.9	肥満1度 (生活習慣改善)
	体脂肪率 (BODPOD)				
	体脂肪率 (インピーダンス)	22.8	22.8 %	~24.9	
	体脂肪量	17.8	17.8 kg		
ウエスト周囲径		98.0 cm			
循環器	安静時血圧	148/94	135/99 mm/Hg	~139/ ~89	
	安静時心拍数	64	70 拍/分		
	API				
	動脈硬化指数				
呼吸器	努力性肺活量			ml	
	比肺活量			%	
	1秒率			%	
	CO濃度			ppm	
肝機能	AST (GOT)	20	20 IU/l	~35	異常なし
	ALT (GPT)	22	22 IU/l	~35	
	γ-GTP	30	30 IU/l	~55	
	アルカリフォスファターゼ			IU/l	
	コリンエステラーゼ			IU/l	
脂質代謝	総コレステロール	221	221 mg/dl	~219	高脂血症 (生活習慣改善と 定期的検査)
	LDLコレステロール	152.0	152.0 mg/dl	~140	
	HDLコレステロール	61.0	61.0 mg/dl	40~	
	トリグリセライド	213	213 mg/dl	~149	
	リポ蛋白-a			mg/dl	
糖代謝	空腹時血糖	101	101 mg/dl	60~109	異常なし
	HbA1c	4.8	4.8 %	~5.5	
	インスリン			μU/ml	
	HOMA指数				
尿酸	尿酸	7.9	7.9 mg/dl	~6.9	高尿酸血症 (生活習慣改善)
蛋白代謝	総蛋白	7.4	7.4 g/dl	6.5~8.0	異常なし
	アルブミン	4.7	4.7 g/dl	4.0~	
	A/G	1.7	1.7	1.2~	
	α1-グロブリン			%	
	α2-グロブリン			%	
	β-グロブリン			%	
腎	クレアチニン	0.9	0.9 mg/dl	~1.1	異常なし
尿一般	尿蛋白	-	-	-	異常なし
	尿糖	-	-	-	
	潜血	-	-	-	
	ウロビリノーゲン	±	±	±	
血液	赤血球数	518	518 ×10 ⁴ /μl	400~570	異常なし
	ヘモグロビン	16.2	16.2 g/dl	13.0~17.0	
	ハマトクリット	46.3	46.3 %	40.0~52.0	
	白血球数	6060	6060 /μl	3000~9099	
	血小板数	27.7	27.7 ×10 ⁴ /μl	13.0~50.0	

検査項目	今回結果	前回結果
診察 安静心電図所見 安静心電図診断 負荷心電図所見 負荷心電図診断 骨密度診断	実施せず 異常なし (正常) 異常なし (正常) 正常洞調律 J型ST低下 (正常) 運動負荷陰性 異常なし	診察所見異常なし 異常なし (正常) 異常なし (正常) 正常洞調律 J型ST低下 (正常) 運動負荷陰性 異常なし

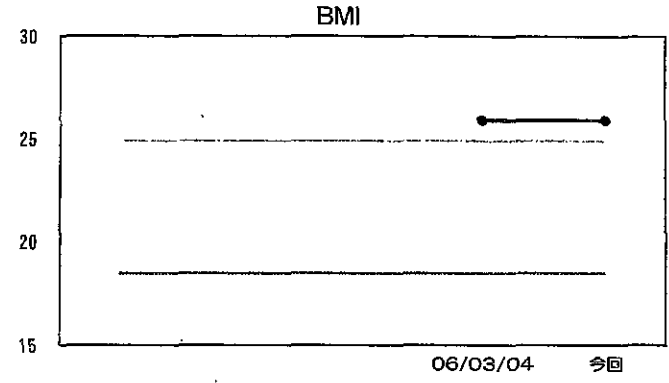
※今回結果の前についている、印は結果が標準域とはずれていることを示し、^{*}は要観察、[△]は要精検、⁺は要医療を意味します。※アルカリフォスファターゼ試薬変更のため、2004.4.1から基準値が変りました。

検査結果表2

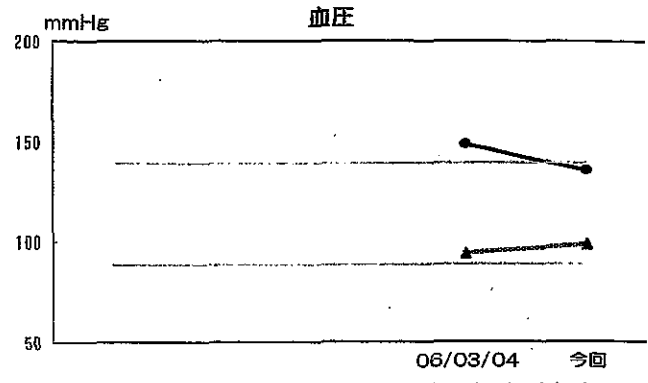


利用者番号	001273972	フガナケン タロ 氏名 検診 太郎	性別:男 年齢: 34歳	今回検査日 平成18年 4月12日 (B) 前回検査日 平成18年 3月 4日 (B)
-------	-----------	----------------------	-----------------	--

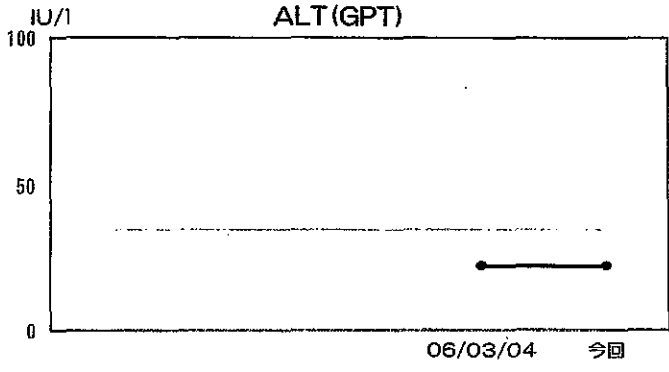
_____ は、基準範囲です。データの推移に注意しましょう



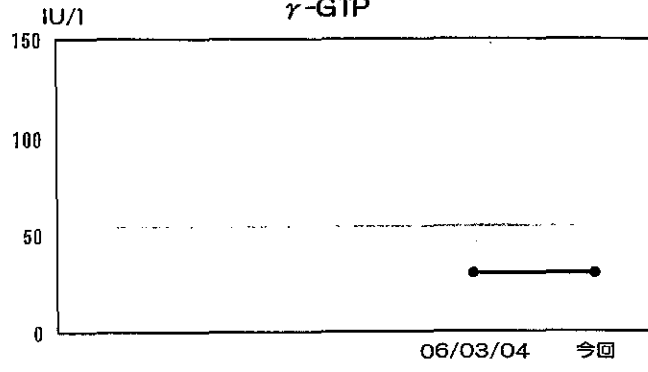
BMI = (体重kg) / (身長m)² の計算で得られる肥満の指数です。25以上を肥満、18.5未満をやせと判定します。



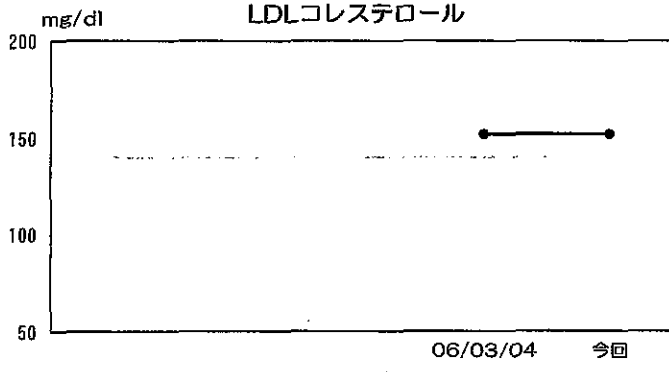
血圧が高いと、脳卒中、心筋梗塞の危険が高まります。収縮期血圧140mmHg以上、もしくは拡張期血圧90mmHg以上を高血圧と判定します。



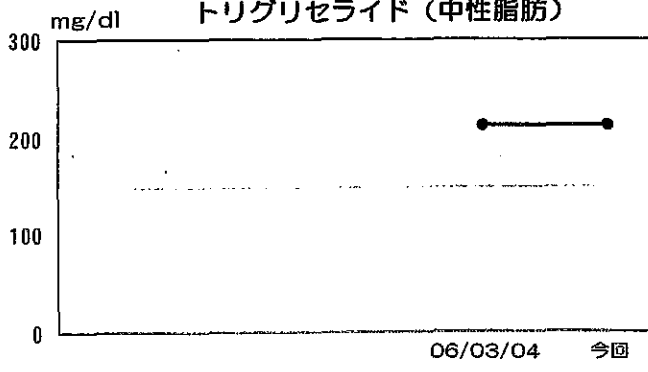
ALTは肝臓で産生される酵素です。高値の場合、肝臓に問題があります(脂肪肝、肝炎など)。



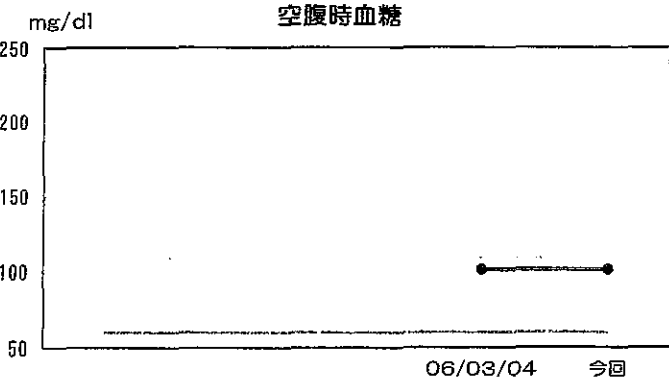
gamma-GTPは肝臓で産生される酵素です。多くの場合、飲酒で増加します。



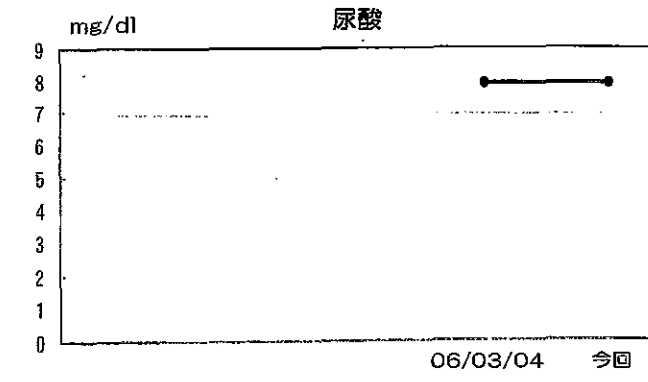
LDLコレステロールは悪玉コレステロールです。高値の場合、心筋梗塞の危険が高まります。140mg/dl以上を高LDLコレステロール血症と判定します。



トリグリセリドは血中脂質の一種で、カロリー摂取過剰もしくは運動不足で上昇します。150mg/dl以上高トリグリセリド(中性脂肪)血症と判定します。



糖尿病とは血糖値が異常に高くなった状態です。126mg/dl以上の場合、糖尿病の可能性が疑われます。110~125mg/dlでは、軽い糖代謝異常が潜んでいる可能性があります。



尿酸値が高くなると、血液中に溶解できず、関節腔にその結晶が析出し、関節炎(痛風発作)を引き起こします。7mg/dl以上を高尿酸血症と判定します。

あなたの動脈硬化危険度は1

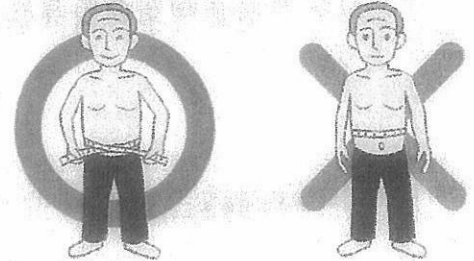
利用者 番号	001273972	フガナケン 知 氏名 検診 太郎	性別：男 年齢：34歳	今回検査日 平成18年 4月12日 (B) 前回検査日 平成18年 3月 4日 (B)
-----------	-----------	---------------------	----------------	--

あなたの動脈硬化に関する調査

	正常値	危険の度合い
肥満度		
血圧		
糖尿病		
脂質(HDL,TG)		
LDL		
喫煙		
HOMA		

ウエスト周囲径の測り方

ウエストの測り方には注意点があります。正しい測り方はへそまわりを測ることです。腰の一番細いところではないので、気をつけてください。立った状態で、軽く息を吐きながら測ってみましょう。



おへその高さで測りましょう。

HOMA：インスリンの働きの低下（抵抗性）を反映します。この数値が高いと、動脈硬化を起こしやすく、膵臓への負担が大きくなります。

メタボリックシンドローム診断基準

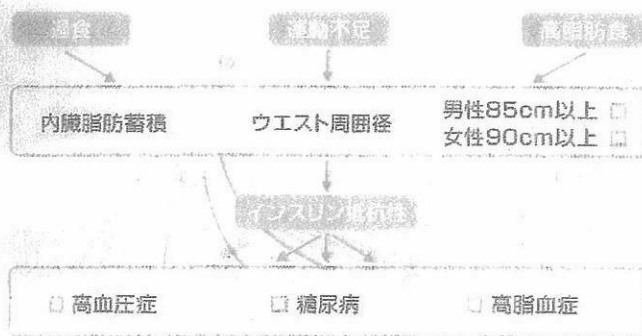
◎ 腹腔内脂肪蓄積	ウエスト周囲径	男性 85cm以上 女性 90cm以上
-----------	---------	------------------------

上記に加え以下のうち2項目以上があてはまる。

○ 血圧	収縮期血圧	130mmHg以上	かつ/または	拡張期血圧	85mmHg以上
○ 血糖値	空腹時血糖	110mg/dl以上			
○ 脂質	トリグリセライド	150mg/dl以上	かつ/または	HDL	40mg/dl未満

- * ウェストは腰の一番細いところではなく、おへその高さで計る。
- * 女性はウェスト周囲径73cm以上で、内臓脂肪蓄積が始まっている可能性がある。
- * 高血圧、糖尿病、高脂血症に対する薬物療法を受けている場合は、それぞれの項目に含める。

該当する項目をチェックしてみましょう。



これに該当し(必須条件)、

さらに…

このうち1つあり
⇒メタボリックシンドローム予備群

このうち2つあり
⇒メタボリックシンドローム

動脈硬化



心筋梗塞

狭心症

脳梗塞

閉塞性動脈硬化症(ASO)